

海霧について調べました。
温度計などを設置せず、デスクで手に入る情報をもとに分析しました。
発生・非発生の違いがはっきりとわかるデータにはなりませんでした。が、
発生しやすい条件などがわかりました（次ページ）。

また、1月頃までは、海霧の発生・非発生の報告が多かったです。朝日の
時間が早くなると、通勤などで海霧を見る機会が減ってしまうことが原因
かもしれません。

今回求めたデータのほか、外洋のうねりによって、表面の海水温が下がり
海霧が発生しにくい可能性が考えられます。今年は特にうねりについても
分析していきたいと思っています。

海霧発生条件（仮）

- ・ 晴れている
- ・ 潮岬の気圧が 1 0 1 0 hPa以上
- ・ 風速は 4 m/s以下
- ・ 潮岬の気温と海水温の差が 1 0 °C以上
- ・ 西川と潮岬の温度差が 8 °C以上
 - ※潮岬の気温が 5 °C以下の時は温度差に関係なく発生することがある
- ・ 湿度とは関係を見いだせなかった
- ・ 干満による潮位は関係ない。
- ・ 潮岬の気温が 1 5 °C以上では発生せず
- ・ 外洋でうねりがあるときは発生しない？すごい関係してそう。
（解析中）

データの入手先について

- 気象データ

- 気象庁の観測データ（潮岬）
（天気、潮位、気温※、降水量、日照時間、風速、風向、気圧、相対湿度）
※気温は潮岬および西川を使用

- 海水温

- 潮岬の海水温グラフ | お天気ナビゲータ (n-kishou.co.jp)
※実測値でないことに注意

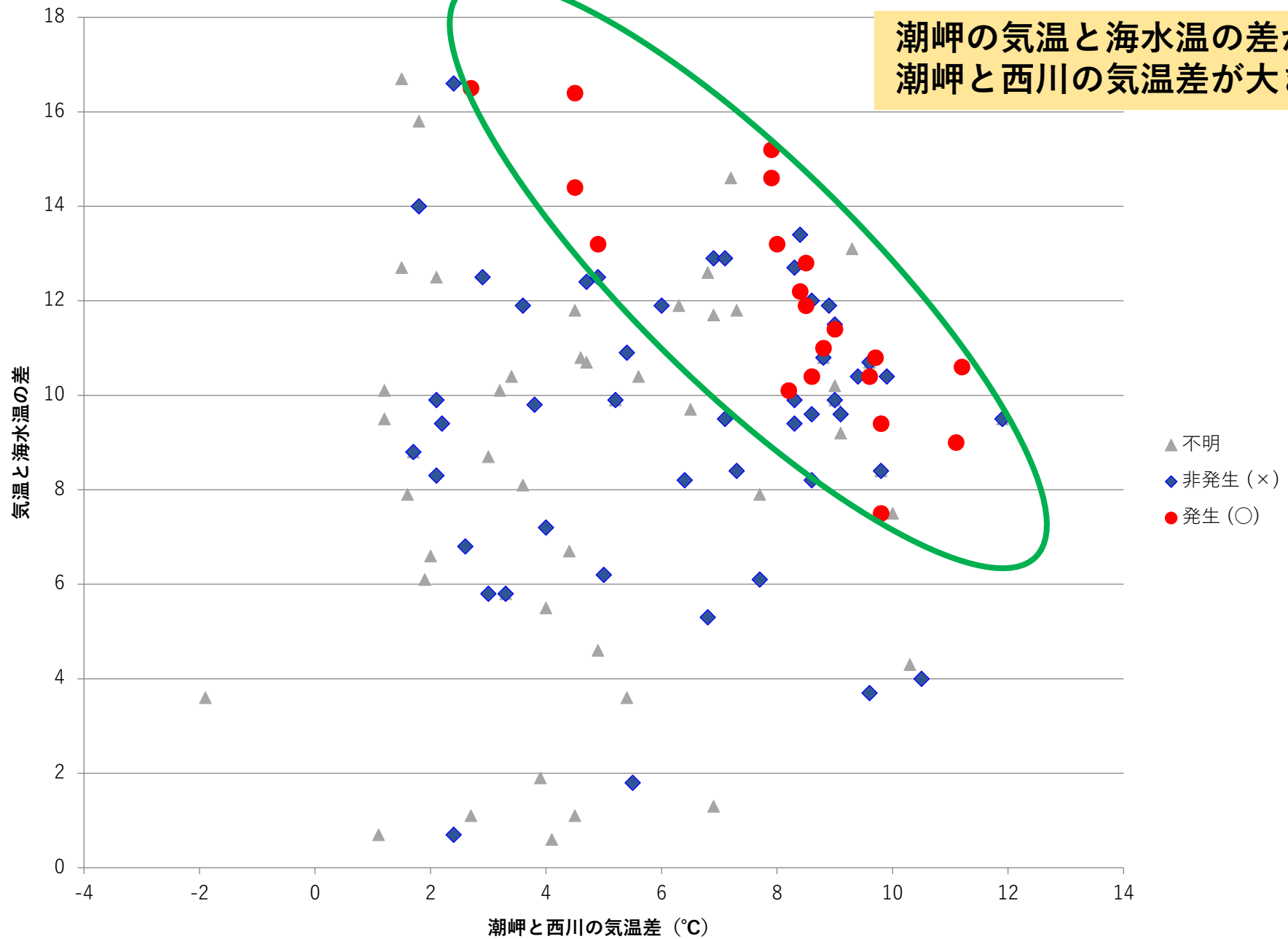
- 気温差

（海面の気温）－（潮岬の気温）で求めた

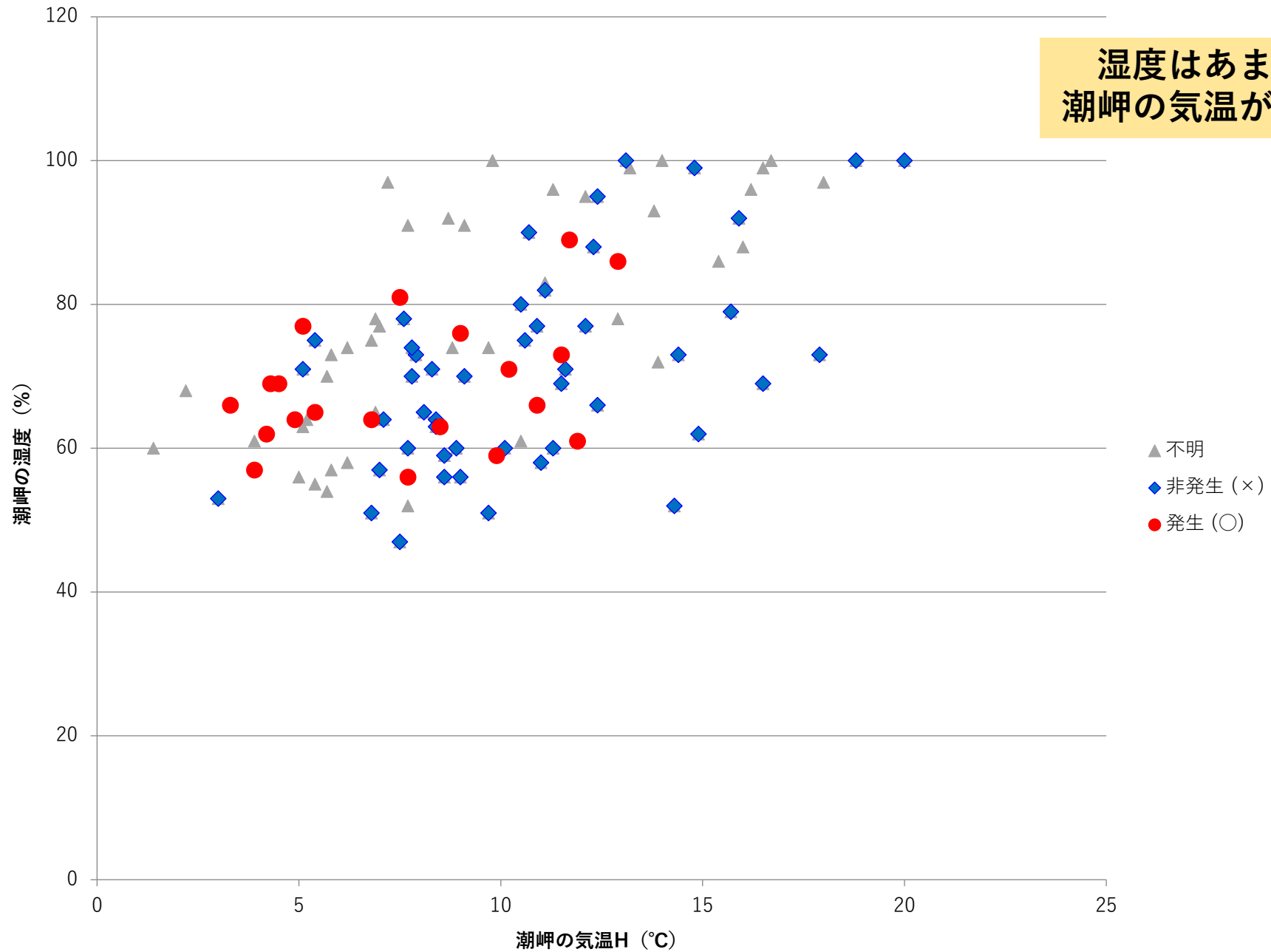
- 西川と潮岬の気温差

（潮岬の気温）－（西川の気温）で求めた

気温差と海水温差との関係

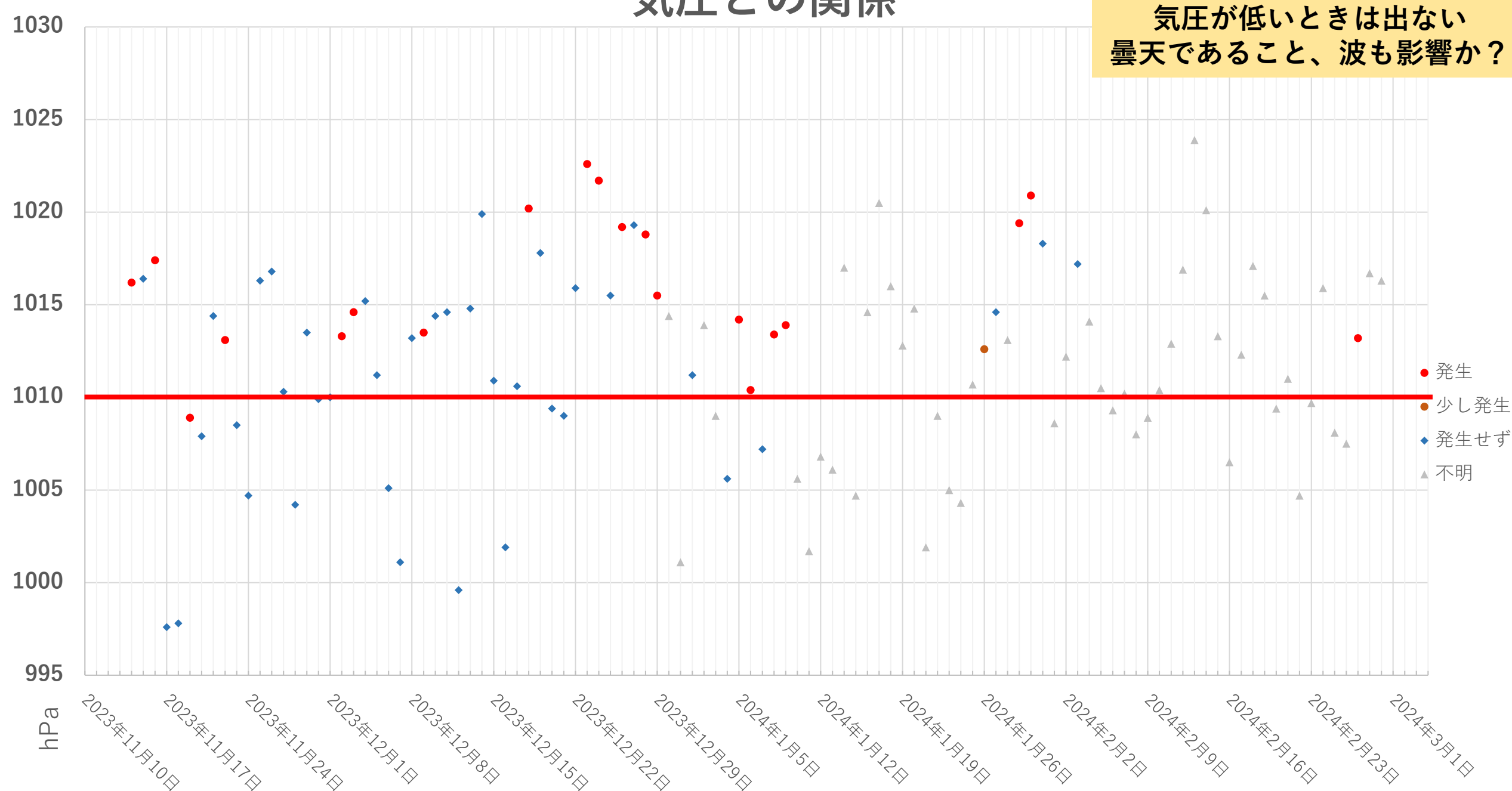


潮岬の気温と湿度との関係



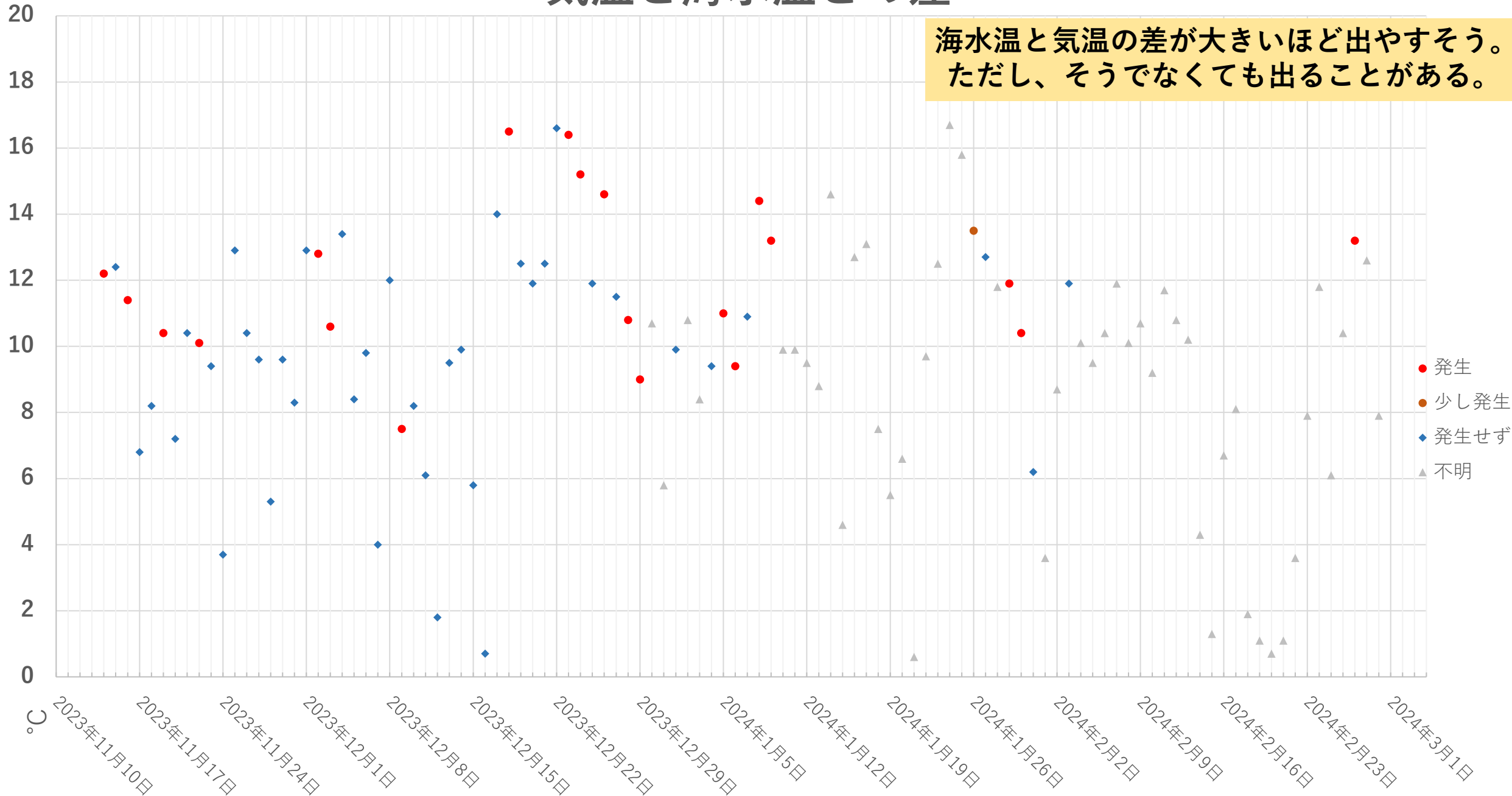
気圧との関係

気圧が低いときは出ない
曇天であること、波も影響か？



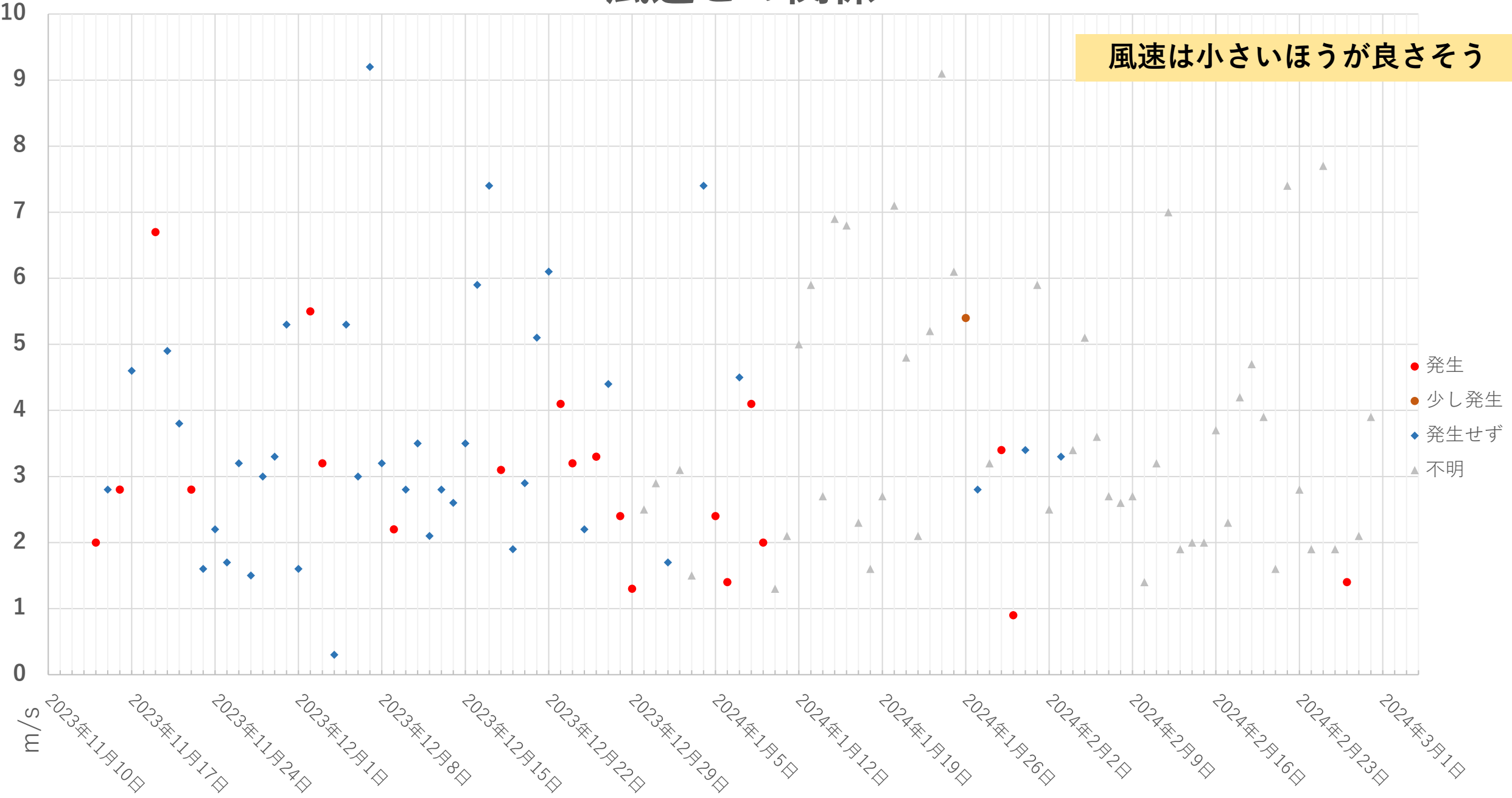
気温と海水温との差

海水温と気温の差が大きいほど出やすそう。
ただし、そうでなくても出ることがある。



風速との関係

風速は小さいほうが良さそう



潮岬と西川の気温差

潮岬と西川の気温差が大きいときは発生しやすい
気温差が小さくても潮岬が低温の時は発生

